



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場会社名 株式会社カプコン 上場取引所 東・大
 コード番号 9697 URL <http://www.capcom.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)辻本 春弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員 (氏名)小田 民雄 TEL (06)6920-3605
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	50,270	△29.0	6,744	△47.2	5,823	△48.5	3,242	△52.6
23年3月期第3四半期	70,773	41.6	12,769	165.1	11,303	135.7	6,836	294.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期1,837百万円(△61.7%) 23年3月期第3四半期 4,796百万円(492.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	55 88	—
23年3月期第3四半期	115 71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	91,410	54,800	60.0
23年3月期	90,408	58,007	64.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 54,800百万円 23年3月期 58,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15 00	—	25 00	40 00
24年3月期	—	15 00	—		
24年3月期(予想)				25 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	△12.0	12,100	△15.4	12,000	△6.7	7,000	△9.7	120 87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、4ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	67,723,244株	23年3月期	67,723,244株
24年3月期3Q	10,138,806株	23年3月期	8,637,817株
24年3月期3Q	58,022,925株	23年3月期3Q	59,086,360株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当業界におきましては、新型携帯ゲーム機の発売や一部ハード価格の値下げに加え、人気ソフトの発売により市場は久しぶりに盛り上がるなど、年末商戦は活性化しました。

一方、携帯電話やスマートフォン（高機能携帯電話）の台頭に伴い、低価格かつ参入障壁が低いソーシャルゲームの急成長により地殻変動の波が押し寄せ、構造的な転換が進んでまいりました。

こうした状況のもと、当社は、基軸部門のコンシューマ・オンラインゲーム事業を強化するとともに、機動的なグループ展開を図るため米国子会社傘下のソーシャルゲーム会社を当社の直轄子会社としたほか、モバイルコンテンツ事業の拡充に経営資源を注力するなど、市場環境の変化に対応した経営展開を行ってまいりました。

また、知名度の向上やファン層の拡大等、人気ソフトとのシナジー効果を創出するため、舞台版「戦国BASARA3」を昨年10月に大阪・東京で開催したほか、人気キャラクターを活用した飲料水の発売など、有力コンテンツによるコラボレーション展開を推し進めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期のコンシューマ・オンラインゲーム事業において、大型ソフトの投入が相次いだ反動減などもあって、売上高502億70百万円（前年同期比29.0%減）、営業利益67億44百万円（前年同期比47.2%減）、経常利益58億23百万円（前年同期比48.5%減）、四半期純利益32億42百万円（前年同期比52.6%減）となりました。

セグメントの状況

①コンシューマ・オンラインゲーム事業

当事業におきましては、ニンテンドー3DS向け目玉タイトル「モンスターハンター3（トライ）G」が100万本を突破し計画どおり推移したほか、同じく「バイオハザード ザ・マーセナリーズ 3D」を発売いたしました。

また、「アルティメット マーヴル VS. カプコン3」（プレイステーション 3、Xbox 360、プレイステーション・ヴィータ用）や「デッドライジング 2 オフ・ザ・レコード」（プレイステーション 3、Xbox 360用）が海外を中心に健闘するとともに、「モンスターハンターポータブル3rd HD Ver.」（プレイステーション 3用）を投入したほか、数多くの提携ソフトを発売いたしました。

加えて、オンライン専用ゲームの「モンスターハンター フロンティア オンライン」シリーズ（パソコン、Xbox 360用）が安定した人気に支えられ堅調に終始いたしました。

この結果、前年同期に主力タイトルを複数投入した反落もあって、売上高は317億21百万円（前年同期比41.3%減）、営業利益59億43百万円（前年同期比54.1%減）となりました。

②モバイルコンテンツ事業

当事業におきましては、「スヌーピー ストリート」が日本やアジアで健闘したほか、「バイオハザード アウトブレイク サバイヴ」に続いて、昨年末に投入したグリー向け第2弾の「モンハン探検記 まぼろしの島」が堅調な出足を示しました。

また、交流サイト世界最大手のフェイスブックと連動して配信を行った「スマーフ・ビレッジ」が好調に推移したことにより、当社の戦略ブランドであるビーラインタイトルは、国内外合わせて4,600万件のダウンロード数を突破するなど、収益力アップに大きく寄与しました。

この結果、売上高は40億8百万円（前年同期比68.2%増）、営業利益13億65百万円（前年同期比189.1%増）となりました。

③アミューズメント施設事業

当事業におきましては、各種イベントの開催や既存店のリニューアルを実施したほか、新規需要の掘り起こしを図るため高齢者の集客活動など、顧客志向に立った地域密着型の施設展開を行ってまいりました。これらの施策により、スマートフォンなど顧客層が重なる他業種との競争激化や客足の伸び悩みがありましたものの、自社製メダルゲーム機の寄与などもあって、客単価は増加いたしました。

当該期間の出退店はありませんでしたので、施設数は前期末と同じく37店舗であります。

この結果、売上高は88億5百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益14億90百万円（前年同期比58.9%増）となりました。

④アミューズメント機器事業

当事業におきましては、業務用機器はメダルゲーム機「モンスターハンター メダルハンティング」や「モンハン日記 すごろくアイルー村」を発売いたしました。

また、遊技機向け関連機器につきましては、「ストリートファイターIV」が堅調に推移するとともに、開発受託の事業展開を行ってまいりました。

この結果、売上高は36億82百万円（前年同期比29.2%増）、営業利益20百万円（前年同期比95.3%減）となりました。

⑤その他事業

その他事業につきましては、主なものはキャラクター関連のライセンス事業で、売上高は20億51百万円(前年同期比25.6%減)、営業利益8億16百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億1百万円増加し914億10百万円となりました。主な増加は、ゲームソフト仕掛品116億17百万円、原材料及び貯蔵品7億40百万円および商品及び製品6億30百万円であり、主な減少は、現金及び預金106億38百万円および受取手形及び売掛金17億43百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ42億8百万円増加し366億9百万円となりました。主な増加は、短期借入金98億94百万円であり、主な減少は、賞与引当金16億86百万円、未払法人税等16億31百万円および支払手形及び買掛金11億51百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ32億6百万円減少し548億円となりました。主な増加は、四半期純利益32億42百万円であり、主な減少は、自己株式の増加27億3百万円、剰余金の配当23億40百万円および為替換算調整勘定(海外連結子会社等の純資産の為替換算に係るもの)の変動13億53百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月6日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用に関しては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更および誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,011	24,373
受取手形及び売掛金	11,700	9,956
商品及び製品	849	1,480
仕掛品	340	337
原材料及び貯蔵品	1,075	1,816
ゲームソフト仕掛品	10,443	22,061
その他	7,793	8,380
貸倒引当金	△37	△38
流動資産合計	67,176	68,367
固定資産		
有形固定資産	13,532	13,132
無形固定資産		
のれん	412	303
その他	2,658	2,932
無形固定資産合計	3,071	3,235
投資その他の資産		
その他	7,597	7,048
貸倒引当金	△968	△372
投資その他の資産合計	6,628	6,675
固定資産合計	23,232	23,043
資産合計	90,408	91,410
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,665	4,513
短期借入金	3,711	13,605
未払法人税等	3,443	1,811
賞与引当金	2,478	791
返品調整引当金	130	101
その他	9,520	9,149
流動負債合計	24,950	29,974
固定負債		
長期借入金	3,644	3,287
退職給付引当金	1,383	1,477
その他	2,422	1,870
固定負債合計	7,450	6,635
負債合計	32,400	36,609

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,328	21,328
利益剰余金	22,945	23,846
自己株式	△13,143	△15,846
株主資本合計	64,370	62,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56	△108
為替換算調整勘定	△6,305	△7,659
その他の包括利益累計額合計	△6,362	△7,767
純資産合計	58,007	54,800
負債純資産合計	90,408	91,410

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	70,773	50,270
売上原価	42,132	29,840
売上総利益	28,641	20,429
返品調整引当金戻入額	—	28
返品調整引当金繰入額	14	—
差引売上総利益	28,626	20,458
販売費及び一般管理費	15,856	13,714
営業利益	12,769	6,744
営業外収益		
受取利息	106	61
受取配当金	19	10
受取和解金	—	67
その他	62	99
営業外収益合計	188	238
営業外費用		
支払利息	116	85
為替差損	1,462	911
その他	76	161
営業外費用合計	1,655	1,158
経常利益	11,303	5,823
特別利益		
固定資産売却益	1	—
貸倒引当金戻入額	24	—
投資有価証券売却益	2	2
その他	4	—
特別利益合計	33	2
特別損失		
固定資産除売却損	17	118
投資有価証券評価損	257	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	204	—
その他	1	—
特別損失合計	481	118
税金等調整前四半期純利益	10,855	5,707
法人税、住民税及び事業税	4,974	1,681
法人税等調整額	△955	784
法人税等合計	4,018	2,465
少数株主損益調整前四半期純利益	6,836	3,242
四半期純利益	6,836	3,242

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,836	3,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△51
為替換算調整勘定	△2,029	△1,353
その他の包括利益合計	△2,040	△1,404
四半期包括利益	4,796	1,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,796	1,837
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,855	5,707
減価償却費	2,335	2,259
のれん償却額	164	83
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△312	△1,657
受取利息及び受取配当金	△126	△71
支払利息	116	85
為替差損益(△は益)	1,456	886
固定資産除売却損益(△は益)	16	118
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	257	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	204	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,983	1,515
たな卸資産の増減額(△は増加)	170	△1,471
ゲームソフト仕掛品の増減額(△は増加)	1,875	△11,787
仕入債務の増減額(△は減少)	1,548	△918
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,135	△565
その他	507	△817
小計	11,196	△6,631
利息及び配当金の受取額	126	69
利息の支払額	△115	△84
訴訟関連損失の支払額	△161	—
法人税等の支払額	△570	△4,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,474	△10,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,332
有形固定資産の取得による支出	△1,311	△1,648
有形固定資産の売却による収入	1	202
無形固定資産の取得による支出	△476	△252
投資有価証券の売却による収入	—	12
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△488	—
その他	365	△210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,909	△4,229

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,500	10,000
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△463	△463
自己株式の取得による支出	△1	△2,703
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△2,067	△2,340
その他	△464	△340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,496	4,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,055	△2,145
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,986	△12,970
現金及び現金同等物の期首残高	29,815	35,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,828	22,041

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	コンシューマ ・オンライン ゲーム	モバイル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	54,057	2,383	8,727	2,849	68,016	2,756	70,773	—	70,773
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	54,057	2,383	8,727	2,849	68,016	2,756	70,773	—	70,773
セグメント損益	12,941	472	938	444	14,796	906	15,702	△2,933	12,769

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△2,933百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,933百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	コンシューマ ・オンライン ゲーム	モバイル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	31,721	4,008	8,805	3,682	48,218	2,051	50,270	—	50,270
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	31,721	4,008	8,805	3,682	48,218	2,051	50,270	—	50,270
セグメント損益	5,943	1,365	1,490	20	8,820	816	9,637	△2,892	6,744

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△2,892百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,892百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、平成23年6月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、平成23年6月9日から平成23年7月20日までに1,500,000株、2,701百万円の自己株式を取得いたしました。